

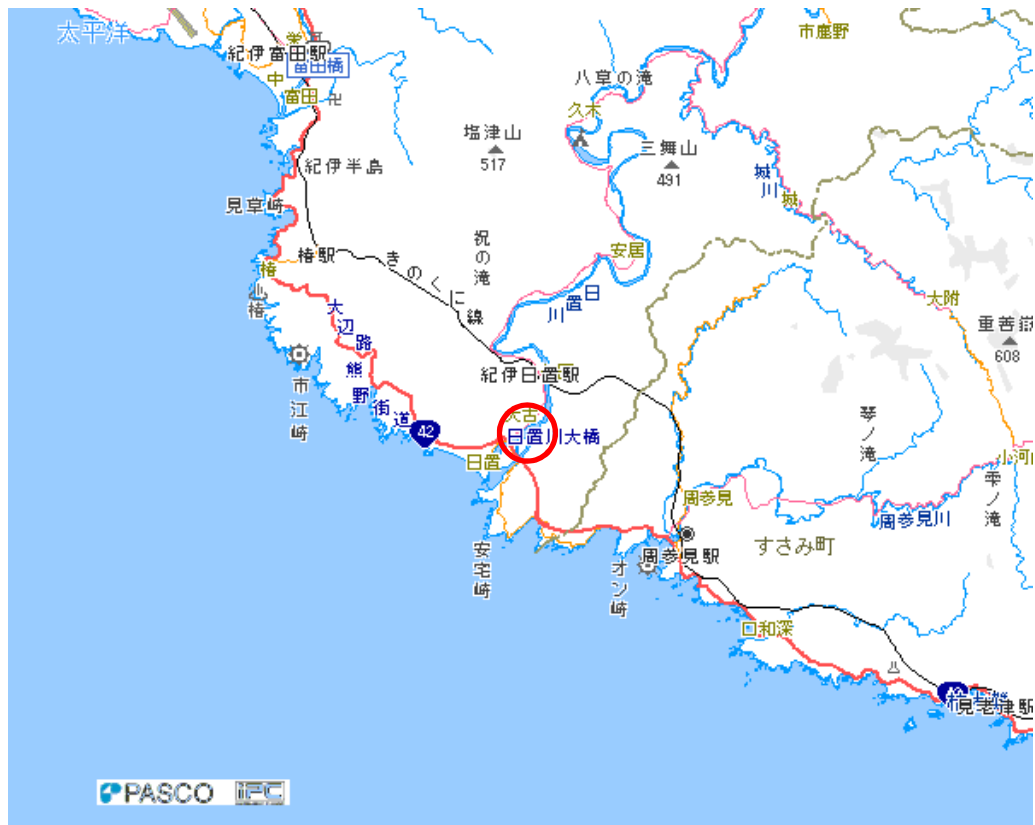
ヨドシロヘリハンミョウ生息地

種別 記念物（天然記念物）

所在の場所及び所有者等

所在の場所	面積	所有者等
西牟婁郡白浜町大古 537 番 143、537 番 144、 537 番 168、537 番 170、537 番 171	23,626 m ²	白浜町
西牟婁郡白浜町大古 537 番 143 地先、537 番 144 地先、537 番 168 地先、537 番 170 地先、537 番 171 地先（日置川河口中洲）		国土交通省 （管理者：和歌山県）

位置図



指定範囲図 別図2のとおり

指定理由

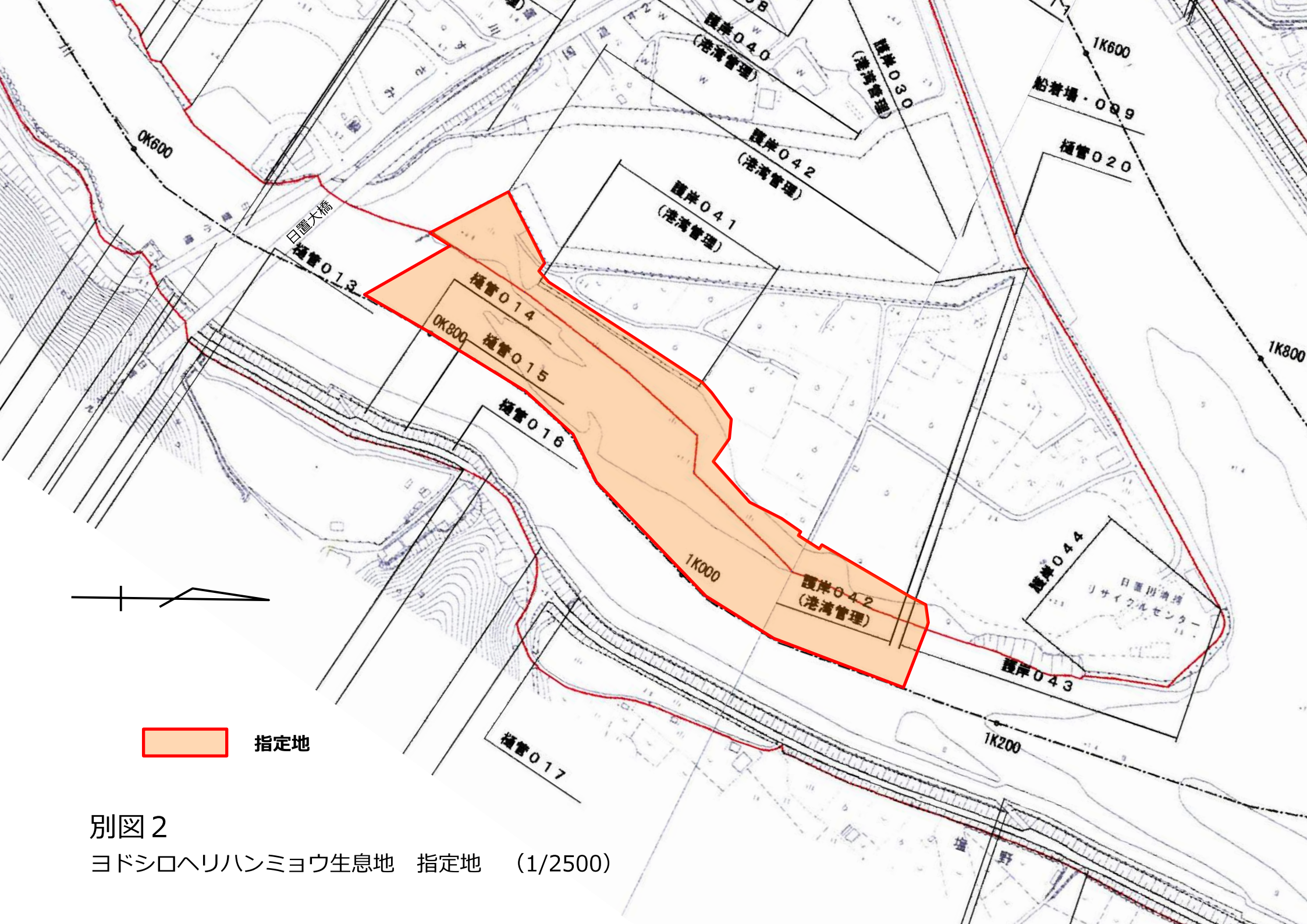
ヨドシロヘリハンミョウ (*Cicindela inspecularis* W.Horn, 1904) は、体長 9～12 mmのコウチュウ目ハンミョウ科に属する海浜性のハンミョウである。上翅の側縁と翅端に白帯があり、シロヘリハンミョウと類似する種であるが、これに比べ白帯がやや太いことが特徴である。体部腹面は赤銅色であり、背面は生息地の環境に対応して黒くなることもある。地表に穴を掘りそれを巣穴として生活する幼虫は、巣穴の入り口で餌動物を待ち伏せ、餌動物が通ると飛び出して捕獲し、巣に引きずり込んで捕食する。また、満潮前には、巣穴の入り口を砂で塞ぐことで水の侵入を防いでいる。一方、成虫は、俊敏に走ることに適した細長い脚、大きな複眼、鋭く長い大きな顎を持つことが特徴で、日中、アリなどの餌動物を発見すると襲いかかりその大きな顎で捕食する。このような生態が示すとおり、ヨドシロヘリハンミョウは潮間帯での生活に適応したハンミョウである。

本種は、国内では九州から瀬戸内海沿岸部を中心として、河口汽水域の潮間帯に広がるヨシ原に生息している。和歌山県内では、西牟婁郡白浜町の日置川河口域に生息するのみで、この場所は国外も含めた本種の分布の東限でもある。なお、命名は大阪府の淀川で採集された個体に基づくが、基準標本産地では絶滅したと考えられている。

このように、「ヨドシロヘリハンミョウ生息地」は学術上の価値が高いことから、これを和歌山県指定文化財〔記念物（天然記念物）〕に指定して保護を図るものである。



ヨドシロヘリハンミョウ



 指定地

別図2
ヨドシロヘリハンミョウ生息地 指定地 (1/2500)